



2023年3月期第2四半期 決算補足説明資料

2022年11月9日

スマート社会のその先へ 真空技術で支える豊かな未来

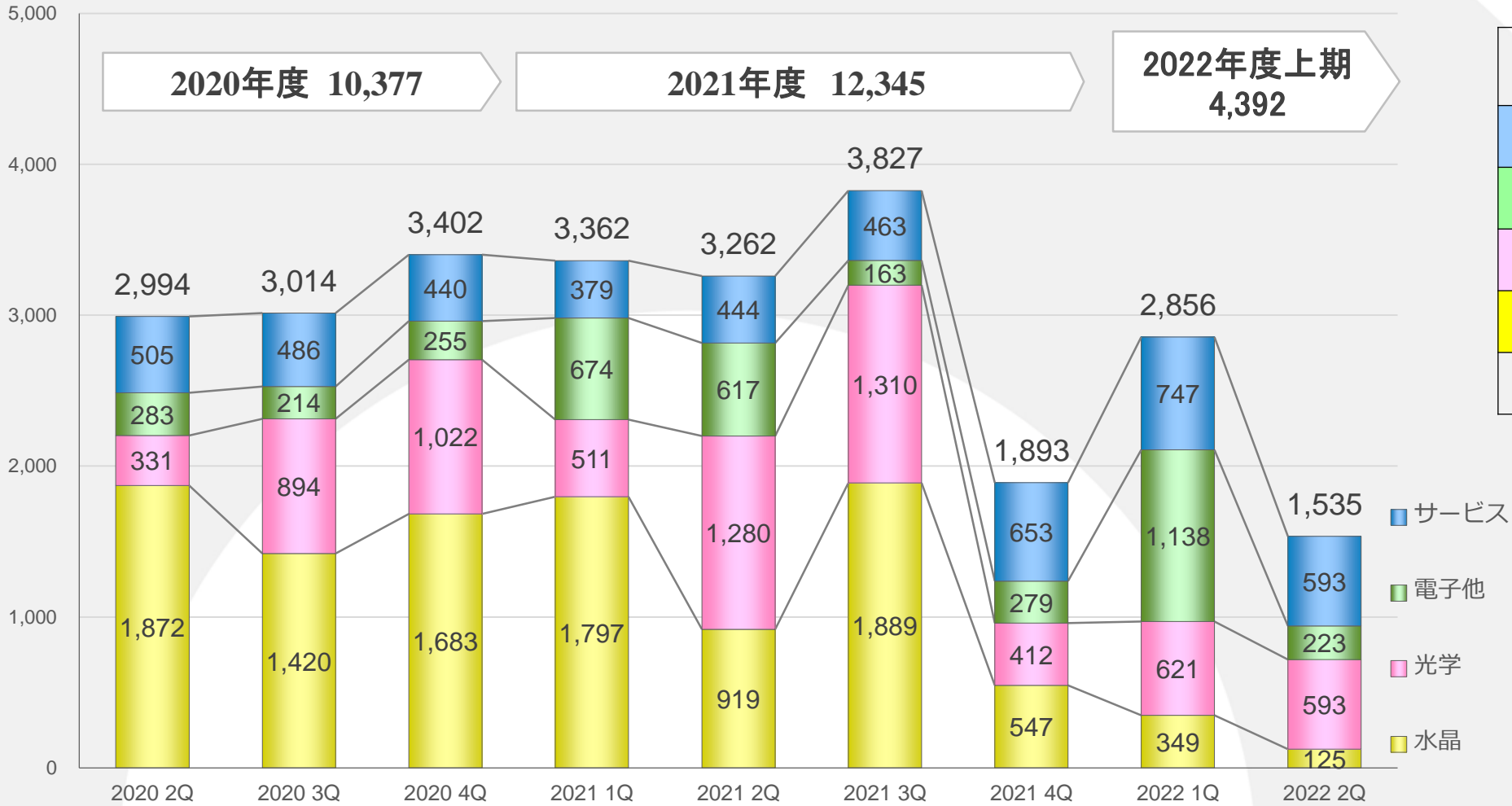
株式会社 昭和真空

証券コード：6384

東証スタンダード市場

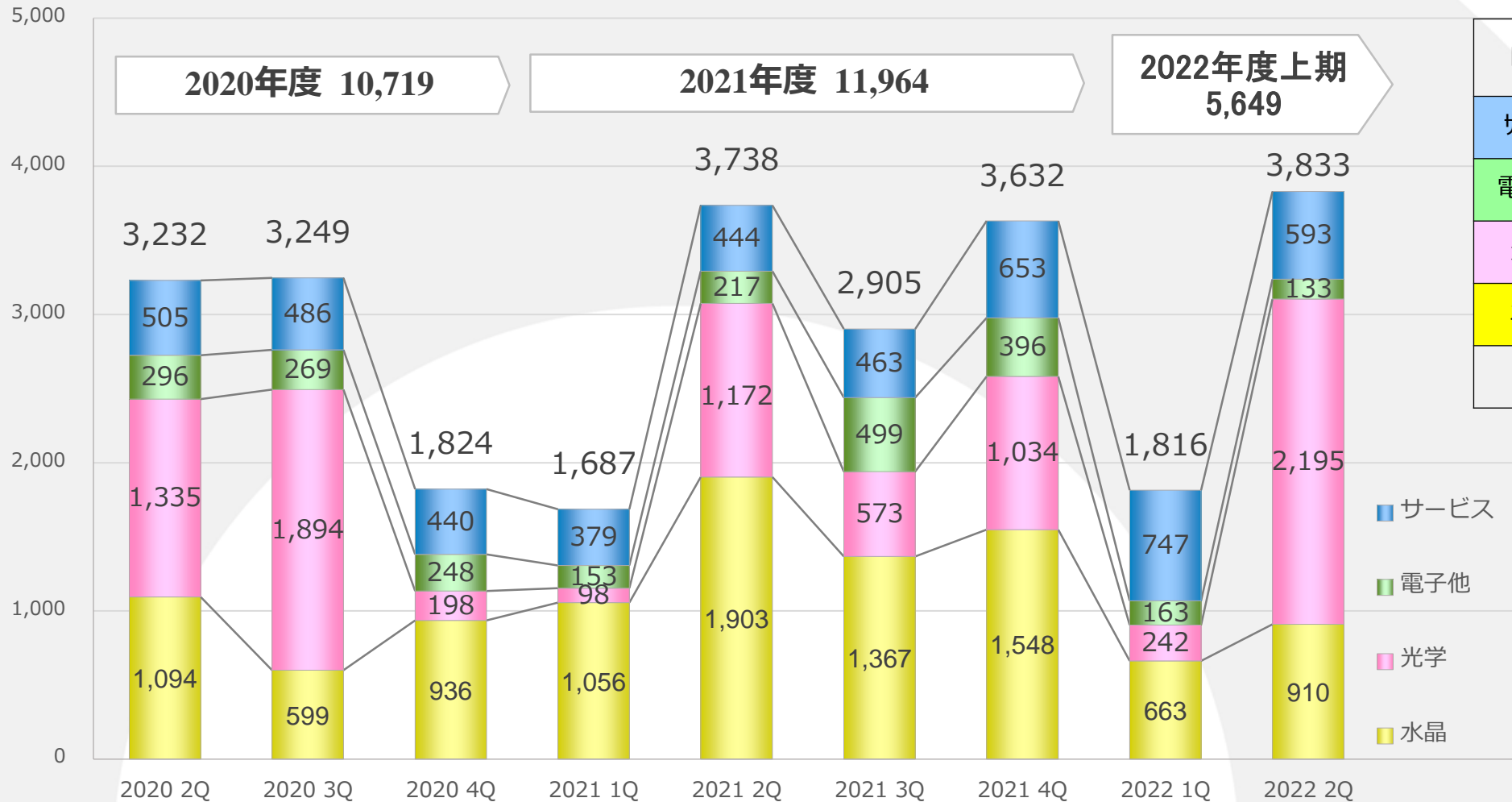
(百万円)	2021年度		2022年度			
	2 Q 実績		2 Q 実績		対前期	
	金額	百分比	金額	百分比	増減額	率
受注高	6,624	—	4,392	—	▲2,232	▲33.7%
売上高	5,426	100.0%	5,649	100.0%	223	4.1%
営業利益	706	13.0%	798	14.1%	92	13.1%
経常利益	708	13.1%	822	14.6%	113	16.0%
当期純利益	508	9.4%	576	10.2%	67	13.3%

(単位：百万円)

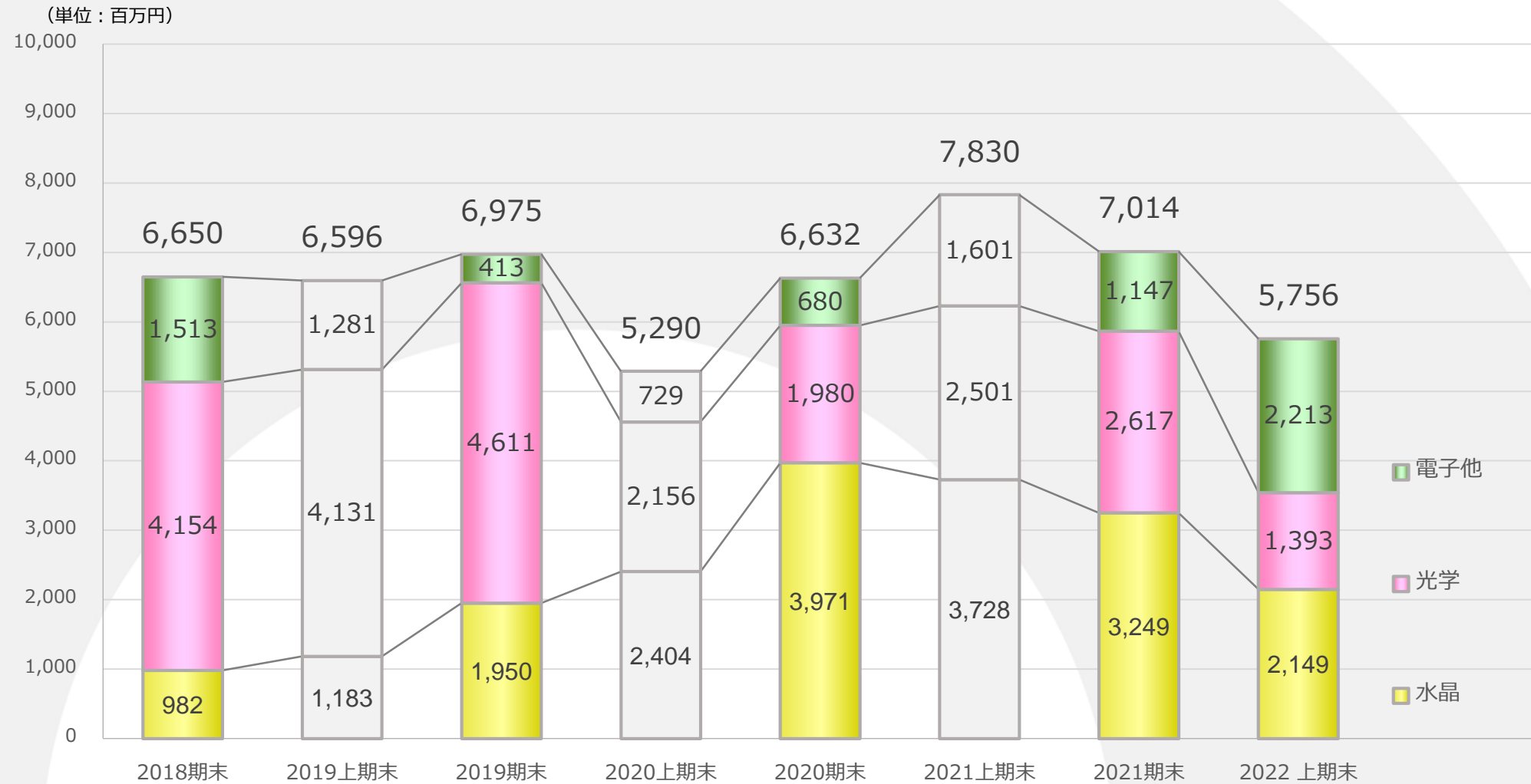


内訳	前年同期	2022 2Q
サービス	823	1,341
電子他	1,292	1,362
光学	1,792	1,214
水晶	2,716	474
計	6,624	4,392

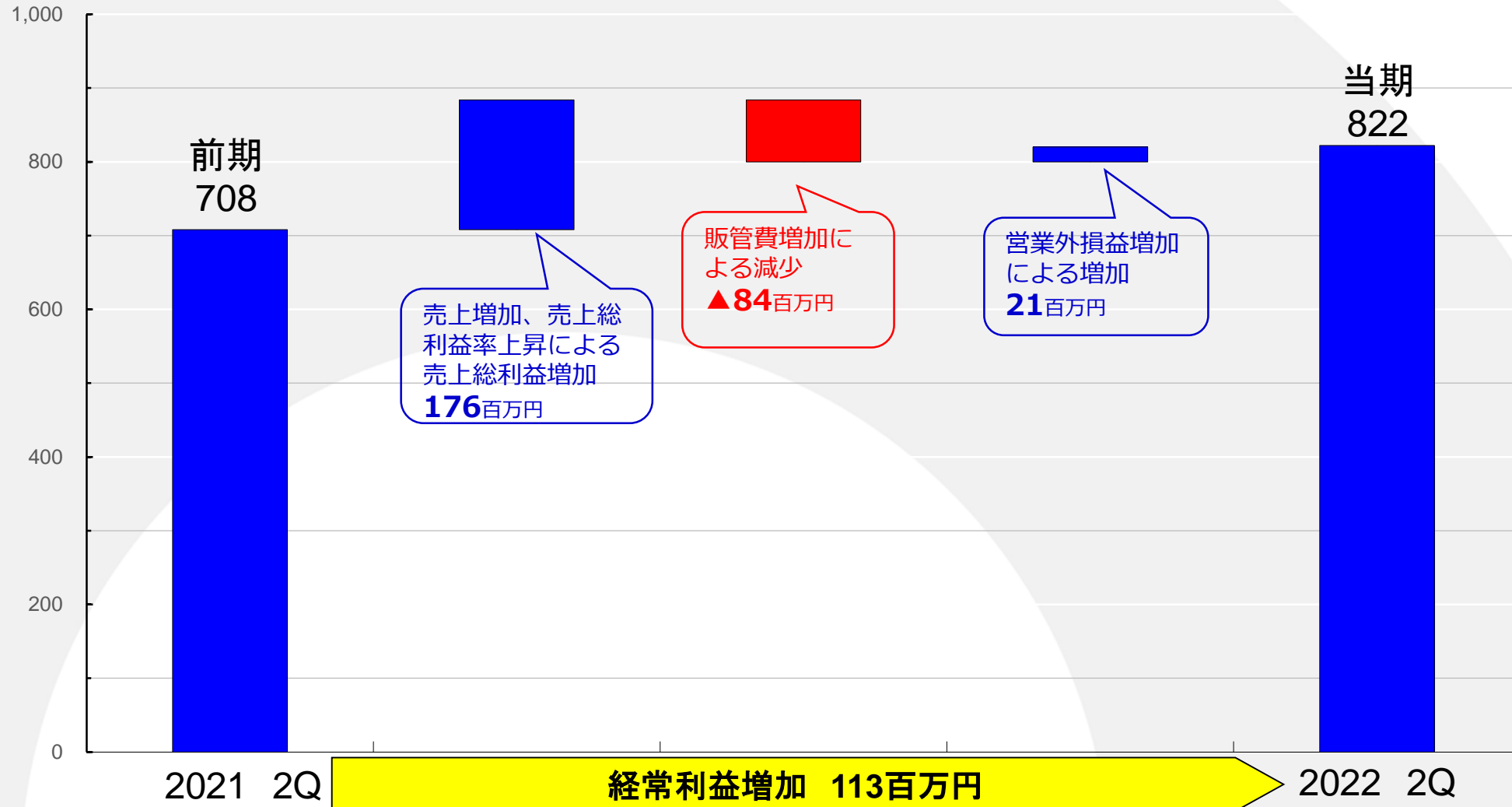
(単位：百万円)



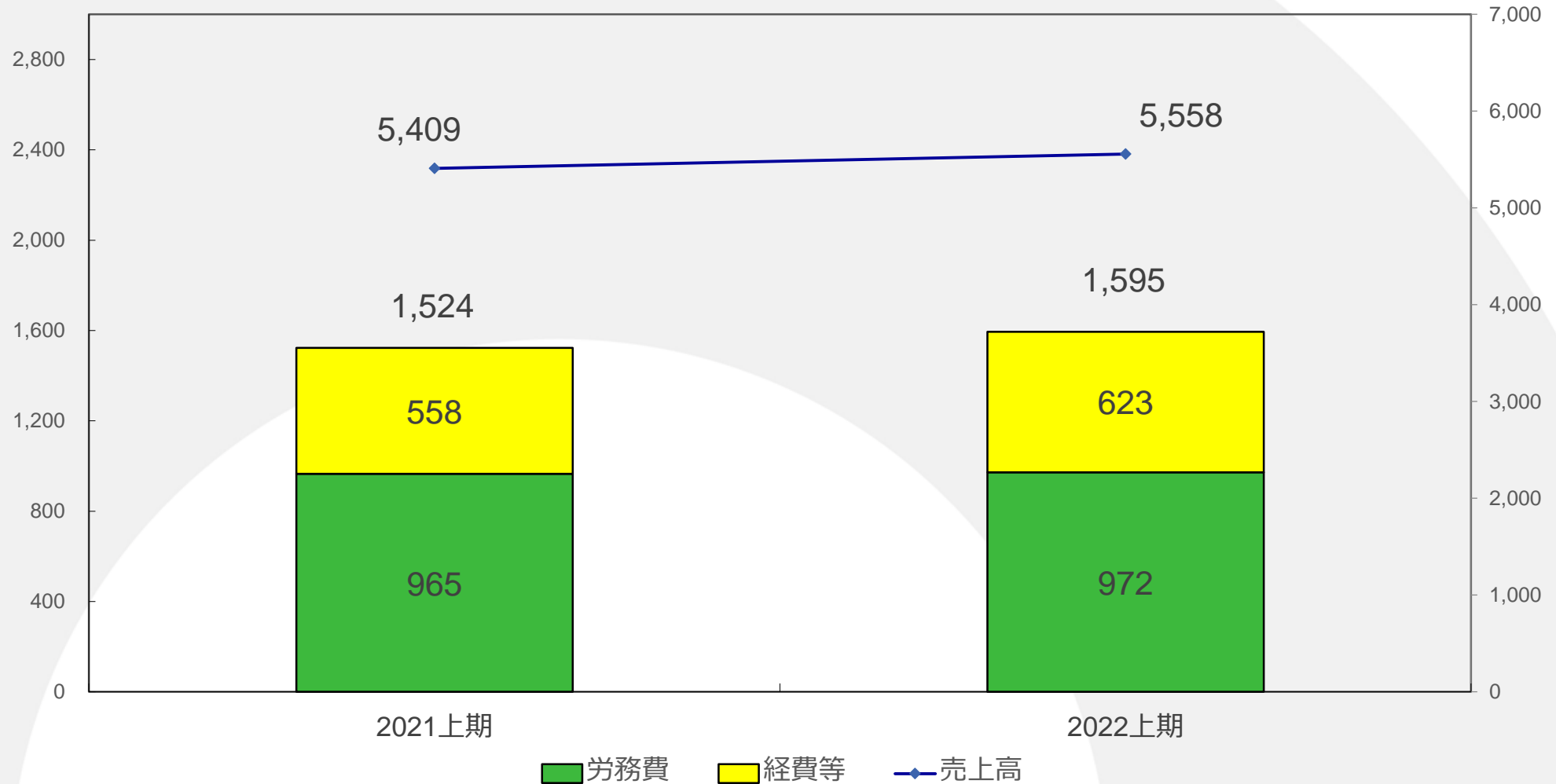
内訳	前年同期	2022 2Q
サービス	823	1,341
電子他	371	296
光学	1,271	2,437
水晶	2,960	1,574
計	5,426	5,649



(単位：百万円)



(単位：百万円)



(単位：百万円)

	2021期末	2022 2Q末	増減額	主な増減要因
資産合計	17,398	15,906	▲1,491	
流動資産	13,389	11,928	▲1,461	現金及び預金 627 受取手形及び売掛金 ▲1,770 仕掛品 ▲397 未収還付消費税 53
固定資産	4,008	3,978	▲30	投資有価証券 ▲39
負債合計	6,341	4,512	▲1,828	
流動負債	5,376	3,509	▲1,866	支払手形及び買掛金 ▲452 電子記録債務 ▲648 前受金 ▲699
固定負債	965	1,002	37	退職給付に係る負債 20 株式給付引当金 13
純資産合計	11,057	11,393	336	

借入依存度 3.8%

自己資本比率 71.6%

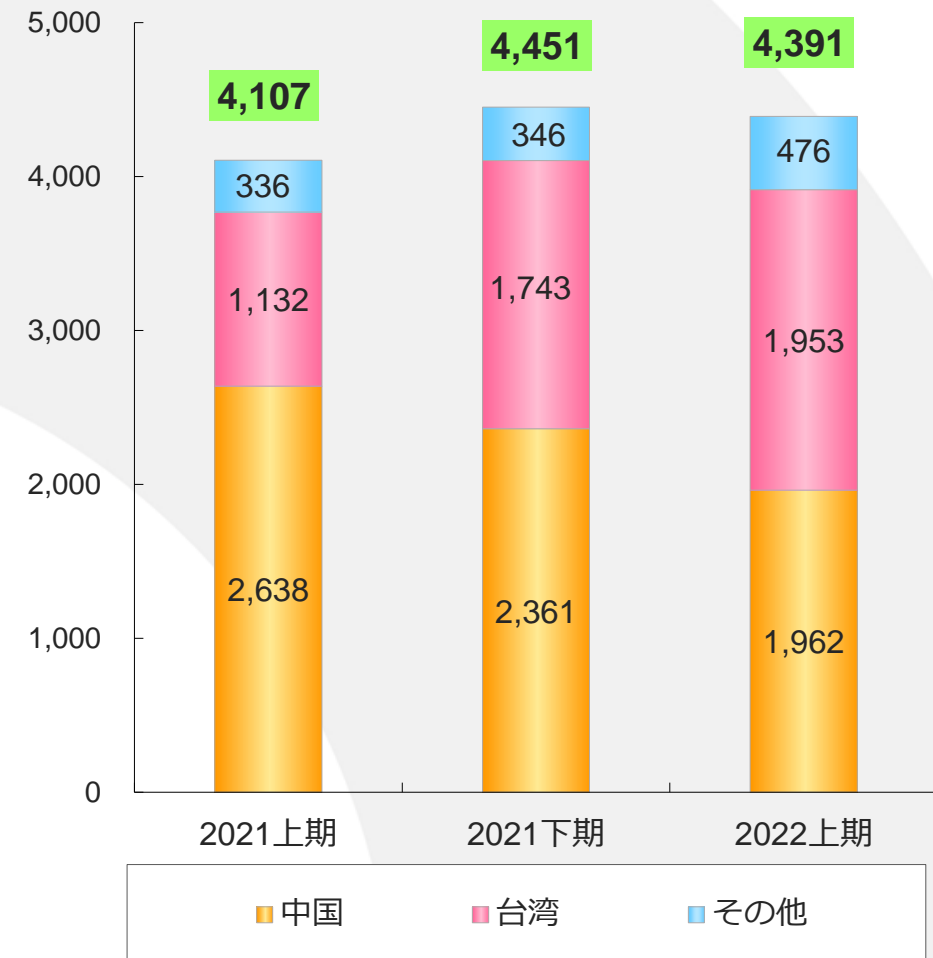
固定比率 34.9%

(単位：百万円)

	2021 2Q	2022 2Q	主な要因
営業活動によるキャッシュフロー	▲139	919	税金等調整前四半期純利益 828 売上債権の減少 1,880 棚卸資産の減少 259 仕入債務の減少 ▲1,131 前受金の減少 ▲700 法人税等の支払額 ▲291
投資活動によるキャッシュフロー	▲49	▲82	有形固定資産の取得 ▲94
財務活動によるキャッシュフロー	▲338	▲377	配当金の支払 ▲371
現金及び現金同等物に係る換算差額	79	163	
現金及び現金同等物の増減額	▲448	622	
現金及び現金同等物の期首残高	5,296	5,012	
現金及び現金同等物の期末残高	4,848	5,635	

(単位：百万円)

	2021 上期	2021 下期	2022 上期
中国	2,638	2,361	1,962
台湾	1,132	1,743	1,953
タイ	233	20	199
マレーシア	26	113	24
韓国	61	11	3
その他	14	200	248
合計	4,107	4,451	4,391
輸出割合	75.7%	68.1%	77.7%

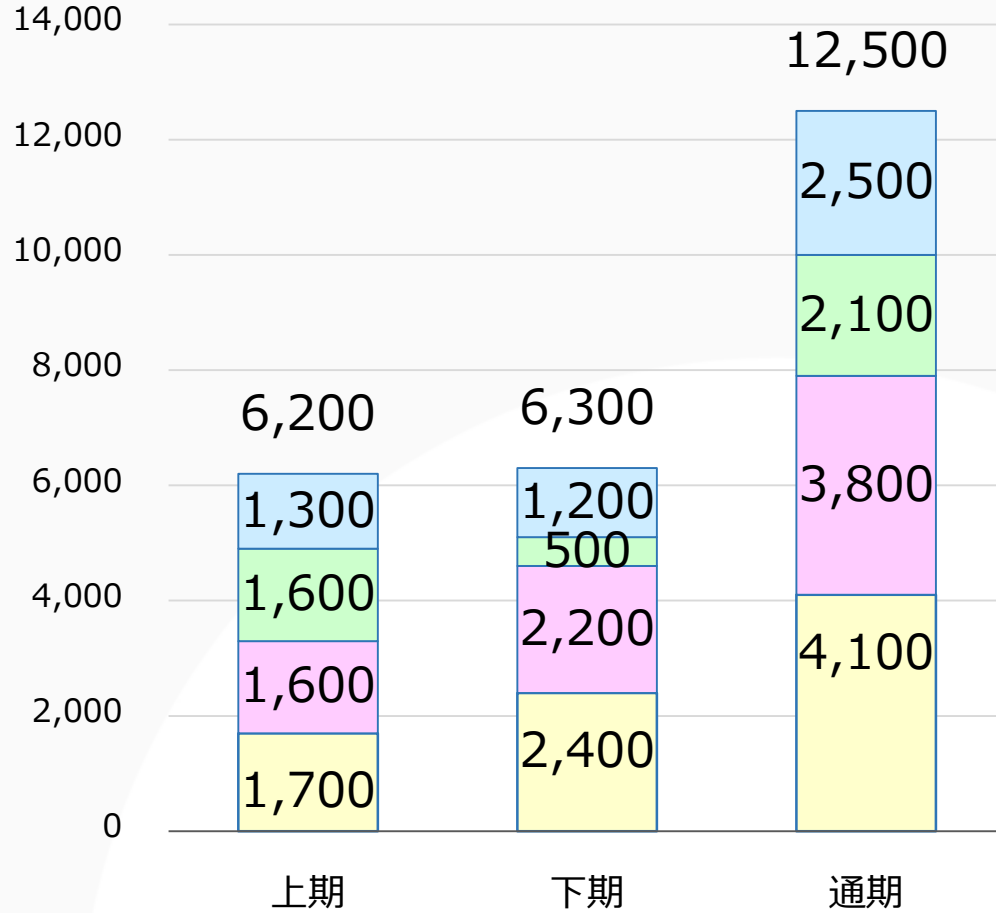


1. デバイスメーカの次世代電子部品開発への取組姿勢は継続、サンプル成膜・依頼実験に対応
2. 水晶業界及び光学業界については、世界のスマートフォン出荷台数減少を受け、スマートフォン部品に係る増産設備投資は様子見姿勢が強まる中、以下の受注を獲得
 - ▶ 水晶業界からは車載関連や音叉型の水晶振動子に係る装置を受注
 - ▶ 光学業界からはスマートフォン用高機能カメラレンズやVR/ARに係る装置を受注
3. 電子・その他業界については、幅広い分野から受注を獲得（新規先含む）
 - ▶ 医療、太陽光発電及び自動車分野並びにSAW・BAWフィルタ、ジャイロセンサに係る装置など
4. 中国上海地域ロックダウンの影響
 - ▶ 概ね解消したがゼロコロナ政策継続により出張時待期期間などの制限があるため、平時よりは据付作業等に時間を要する状態
5. 資機材長納期化の影響
 - ▶ 代替品への置換え、工程調整などによる案件間振替え、予測に基づく先行発注などにより影響を軽減
 - ▶ 受注案件の納期が機種によっては平時より長期化
 - ▶ 引合い案件の提示納期と顧客希望納期が合わず案件によっては受注活動に影響
6. 顧客事情（工場建設遅延、設備導入計画変更、装置仕様変更）等により第3四半期以降に売上時期が延期された案件が複数発生
 - ▶ 初期不良抑制、生産効率化、固定費削減に努めるも営業利益及び経常利益は計画未達

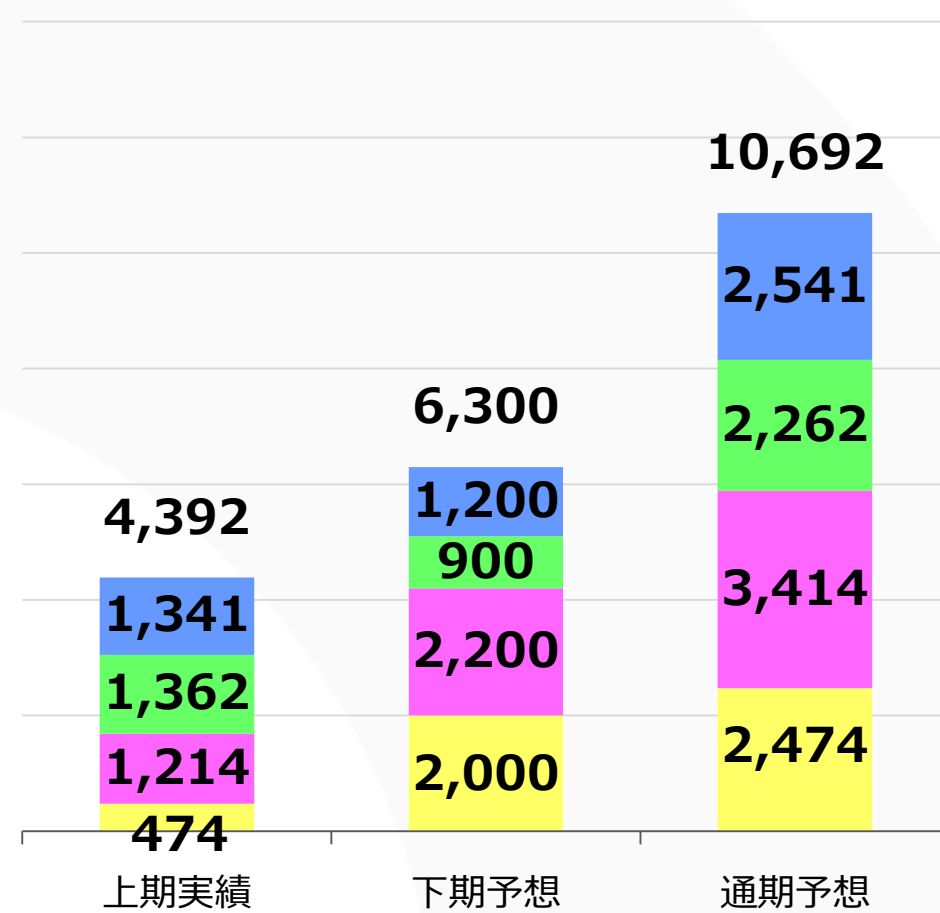
業績の見通し及び今後の展望

(百万円)	2022年度			直近 予想 (5/11開示)	前年 実績
	上期実績	下期計画	通期 予想 (今回)		
売上高	5,649	5,371	11,020	12,500	11,964
営業利益	798	371	1,169	1,570	1,670
経常利益	822	385	1,207	1,609	1,700
当期純利益	576	276	852	1,081	1,240

【 前回予想 (5/11開示) 】



【 今回予想 】



サービス

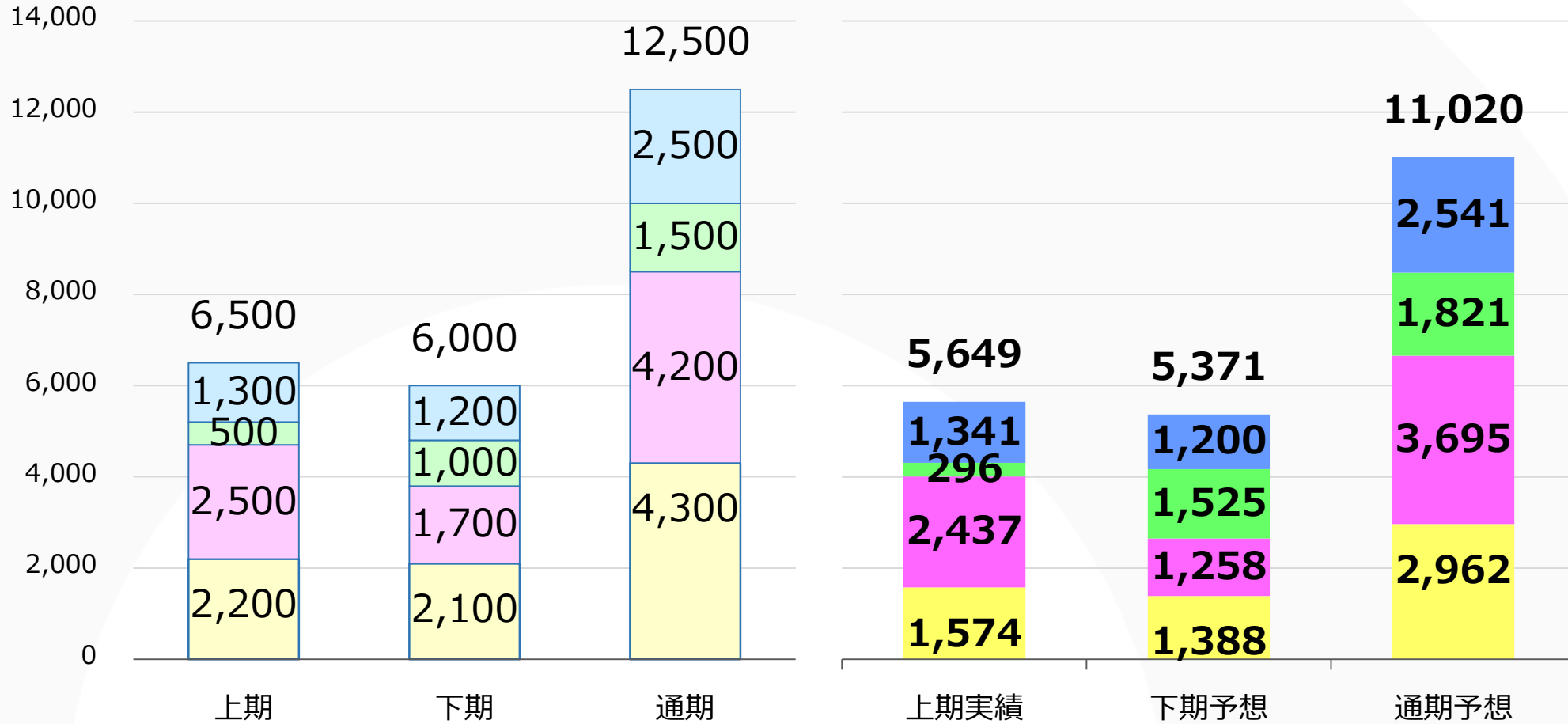
電子

光学

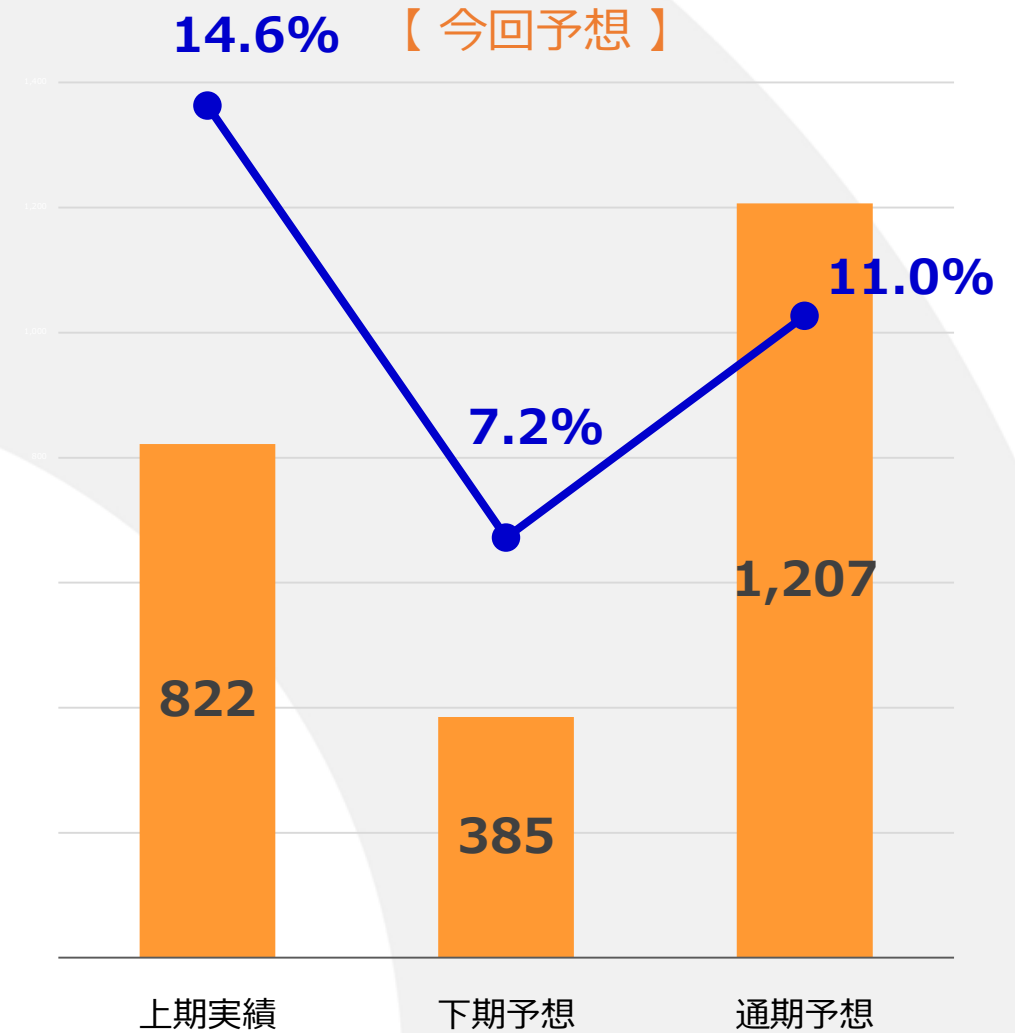
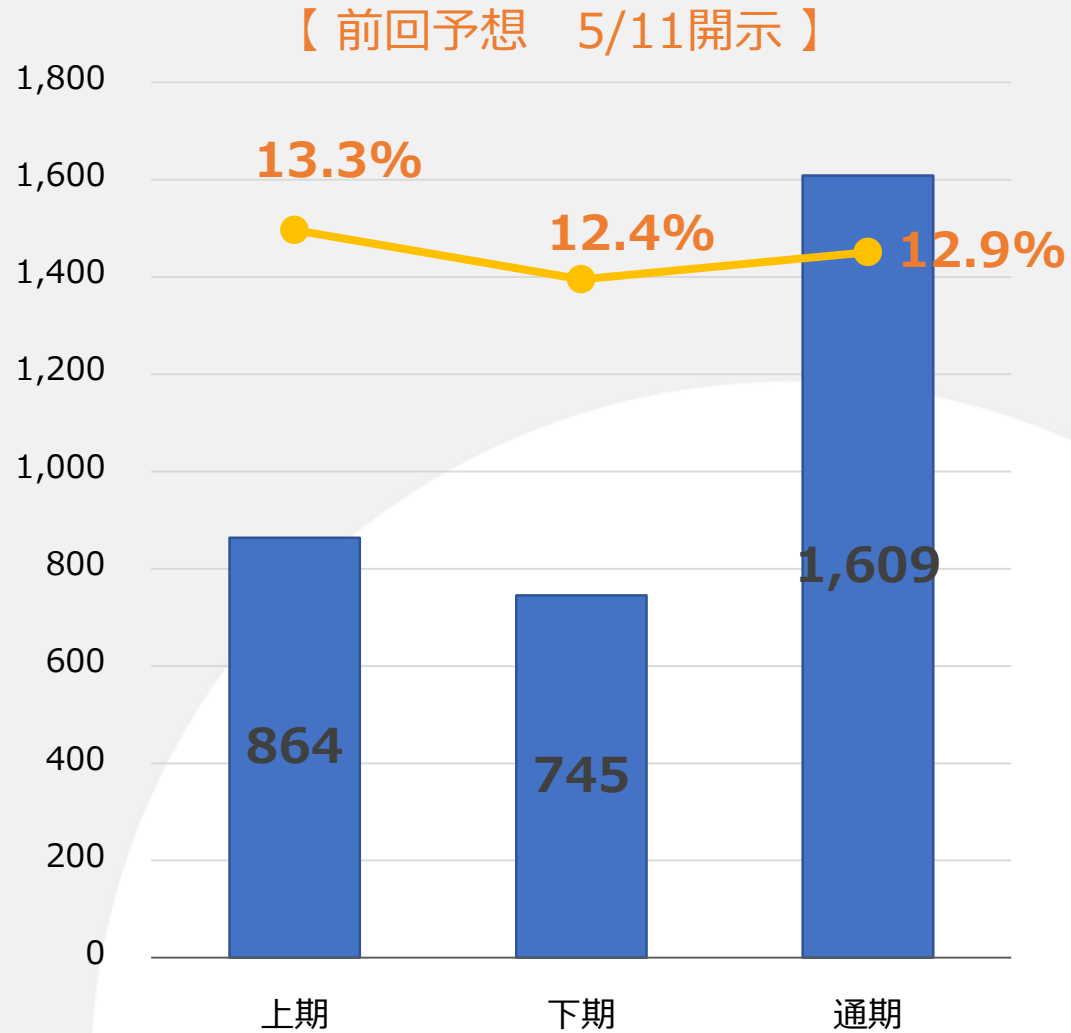
水晶

【 前回予想 (5/11開示) 】

【 今回予想 】



（単位：百万円）



1. 戦略装置の開発と市場投入（各分野）
2. 顧客や大学等研究開発機関との共同開発実施と成果の実現
3. 装置標準化（仕様共通化、製造工程標準化）の進展による生産効率改善
 - ▶ 仕様共通化を進めている標準装置の製造工程標準化
 - ▶ 標準装置や共通ユニットの一定数在庫保有を前提とするロット発注・生産の検討
4. 品質管理体制の強化
 - ▶ 初期不具合情報などの社内連携及び品質検査体制強化
5. 海外子会社との連携強化
 - ▶ 海外新規納入先への中長期メンテナンス計画に基づくアフターサービス実施
 - ▶ 海外生産機種種の拡充
6. 感染症への対応（継続実施）
 - ▶ 地域社会、取引先、従業員安全確保、海外子会社を含めた生産体制の整備、等
7. 資機材の長納期化への対応（継続実施）
 - ▶ 予測に基づく先行発注、代替品切替、柔軟な生産体制等

《注意事項》

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。

そのため、実際の業績はさまざまな要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知おき願います。



株式会社 **昭和真空**
SHOWA SHINKU CO., LTD.